



上海に帰任する場合注意点

挙国一致の防疫体制が進み、復業の日も間近に迫って参りました。
本日は、上海市への帰路につく従業員の防疫措置に関する問題に触れていきます。

一、身体の異常を訴える従業員は、絶対に帰って来させないこと

事前に従業員の健康状態に（発熱、咳、脱力感、胸の苦しみなどの）異常が無いかを確認しておきます。もし疑わしい症状があるときは、その従業員を自宅で休ませそのまま病院にかからせ、急いで帰らせないことです。症状が治まり安全が確認された後に、戻らせるようにします。

二、航空、鉄道、高速道路での防疫案

空港や駅へ入るときは必ずマスクをし、列へ並ぶときは必ず前の人とある程度距離を置くようにするとともに、係員の体温測定には積極的に協力してください。目的地へ着いた後は不必要に留まらず、出来るだけ早くその場を離れてください。

公共交通機関で上海へ戻る従業員には、必ず手袋とマスクをつけさせてください。自家用車で上海へ戻る場合でも、一人の時はもちろん複数人で乗車するときは必ずマスクをつけてください。途中でトイレ休憩を挟む場合は、持参した消毒液で手を消毒すると良いでしょう。

上海市交通情報：

空港：上海浦東、虹橋空港ともに今週Uターンラッシュのピークを迎える模様です。

鉄道：上海市へのUターンが間近に迫っており、2月8日から10日にかけて乗客が集中する見通しとなっています。

高速道路：乗員の体温測定などの影響で、一部高速道路で時間帯によって渋滞が発生しています。Uターンのピークは2月8日から2月9日になると見られています。

三、上海市内の交通機関における防疫案

空港、鉄道で上海へ戻る従業員が市内の交通機関を利用するときは、以下の注意が必要です。

1、2月5日上海地下鉄よりご注意を呼び掛けています。地下鉄を乗る際、マスクを必ずつける必要があります。つけない方には、退離させるようになります。

2、乗車中は手で顔に触れないこと（特に目や耳、鼻）。

3、近距離でのコミュニケーションを避け、他の乗客に接触しないこと。

4、列に並び、他の乗客と一定の距離を保つこと。

5、不必要に駅やバス停に留まらず、まっすぐ家に帰ること。

四、上海訪問者へ健康登記表の記載を義務付け

上海市新型コロナウイルス肺炎防疫チームの要請により、上海への訪問者は健康情報を登録しなければなりません。下の写真にある二次元コードを読み取れば、上海への訪問者の健康情報を登録できます。上海市内に入った後も自身の居住地を積極的に報告し、毎日体温を測定しなければなりません。外出も極力控えるべきです。



上海市の多くの企業におかれましては、従業員の出勤を控えるために、上海市へ帰ってくる従業員へ14日間在宅勤務を課し、出来る限り万全の防疫体制を整えることが重要かと思われまます。

特殊时期連絡先：

fengchh@ciicsh.com

【注意】

この資料は、中智「智櫻会」会員企業の責任者のみ送信しています。

中智「智櫻会」
2020年2月6日